

# 東京大学 次期総長予定者 選考結果、選考理由及び選考過程

## <選考結果>

次期総長予定者 ふじ い てる お  
藤 井 輝 夫

(総長任期：令和3年4月1日～令和9年3月31日)

次期総長予定者略歴 別紙のとおり

## <選考理由>

「求められる総長像」に掲げた東京大学総長として期待される5つの資質、能力及び実績を存分に有し、それらに裏付けられた卓越した指導力を発揮し、東京大学憲章の掲げる目標・理念の実現に向けて東京大学を運営・経営していくことができると十二分に期待できます。

また、大学が果たすべき役割が益々重要になっている中、教学と経営の長として、激しく変化する社会の中で、学問の自由と大学の自治を守りながら、奉仕的精神に則り、構成員の信頼を得つつ、日本、世界から寄せられる大きな期待に応えることができる者であると確信し、同氏が次期総長にふさわしいと判断いたしました。

## <選考過程>

### 総長選考日程

4月28日(火)	選考開始の公示
7月7日(火)	第1次総長候補者の推薦(代議員会)
7月22日(水)	第1次総長候補者の推薦(経営協議会)
9月2日(水)	第1次総長候補者に対する面接審査(1日目)
9月4日(金)	第1次総長候補者に対する面接審査(2日目)
9月7日(月)	第2次総長候補者の選定(総長選考会議)
9月30日(水)	第2次総長候補者への意向投票
10月2日(金)	次期総長予定者の決定(総長選考会議)

### 第1次総長候補者の推薦

東京大学総長選考会議に対し、代議員会及び経営協議会から、それぞれ7月7日(火)及び7月22日(水)に第1次総長候補者が推薦された。

## 第2次総長候補者（五十音順）

東京大学総長選考会議は、第1次総長候補者に対し、求められる総長像に照らし、面接を含めた調査を行い、その結果に基づいて次のとおり第2次総長候補者を選定した。

染谷隆夫（工学系研究科長）  
永井良三（自治医科大学学長、宮内庁皇室医務主幹）  
藤井輝夫（理事・副学長）

## 意向投票結果

有資格者数	2375人
投票総数	2069票
有効投票数	1818票
有効投票数の過半数	910票
白票数	251票

（五十音順）

染谷隆夫	635票
永井良三	232票
藤井輝夫	951票
計	1818票

## 総長選考会議活動状況

4月17日（金）	第1回総長選考会議（メール審議）
～26日（日）	・ 議長の選出について ・ 議長の職務代行者の指名について ・ 本年度総長選考会議の進め方について ・ 選考開始の公示について
5月19日（火）	臨時総長選考会議（メール審議）
～20日（水）	・ 総長選考日程の変更について
6月24日（水）	第2回総長選考会議
	・ 代議員会の開催方式等について ・ 第1次総長候補者への通知等について ・ 推薦人への推薦書作成依頼について ・ 人材コンサルティング会社の利用について

- 7月22日(水) 第3回総長選考会議
- ・第1次総長候補者の決定について
  - ・総長候補者からの辞退表明の取扱いについて
  - ・人材コンサルティング会社の利用について
  - ・第2次総長候補者の選考方法等について
- 8月26日(水) 第4回総長選考会議
- ・総長候補者の辞退について
  - ・第2次総長候補者の選考方法等について
  - ・意向投票の方法について
  - ・その他
- 9月 2日(水) 第5回総長選考会議
- ・第1次総長候補者に対する面接審査(1日目)
- 9月 4日(金) 第6回総長選考会議
- ・第1次総長候補者に対する面接審査(2日目)
- 9月 7日(月) 第7回総長選考会議
- ・第2次総長候補者の決定について
  - ・第2次総長候補者への通知・学内への告示スケジュール等について
  - ・意向投票の方法について(報告)
  - ・その他
- 9月25日(金) 第8回(臨時)総長選考会議
- ・総長選考会議に係る文書への対応について
- 9月29日(火) 第9回(臨時)総長選考会議
- ・9月30日の意向投票の実施について
- 10月 2日(金) 第10回総長選考会議
- ・次期総長予定者の決定について
  - ・次期総長予定者の選出に係る通知・公表内容について
  - ・選考過程・制度の検証作業について
  - ・第三者評価(試行)の結果について(報告)
  - ・その他

## 略歴

## 1. 氏名及び年齢（年齢は令和2年度末年齢）

藤井 輝夫（56歳）

## 2. 現職

東京大学 理事・副学長

東京大学生産技術研究所 教授

## 3. 学位（学位の別、専攻分野、取得大学等名及び取得年月）

博士（工学）（船舶海洋工学、東京大学、平成5年3月）

## 4. 学歴（大学卒業以降）

昭和63年 3月 東京大学工学部船舶工学科卒業

平成 2年 3月 東京大学大学院工学系研究科船舶工学専攻修士課程修了

平成 5年 3月 東京大学大学院工学系研究科船舶海洋工学専攻博士課程修了

## 5. 主な職歴

平成 3年 4月 日本学術振興会特別研究員（DC）（平成5年3月まで）

平成 5年 4月 東京大学生産技術研究所

グローブエンジニアリング（トヨタ）寄付研究部門客員助教授

平成 6年11月 東京大学生産技術研究所助教授

平成 7年 4月 理化学研究所基礎科学特別研究員（化学工学研究室）

平成 8年 4月 理化学研究所研究員（生化学システム研究室）

平成11年 4月 東京大学生産技術研究所附属海中工学研究センター助教授

平成15年 3月 ヌシャテル大学マイクロテクノロジー研究所客員研究員  
（平成15年12月まで）

平成17年10月 文部科学省参与（高等教育担当）兼務（平成20年3月まで）

平成19年 2月 東京大学生産技術研究所

附属マイクロメカトロニクス国際研究センター教授

平成19年 9月 LIMMS/CNRS-IIS(UMI2820)共同ディレクター  
（平成26年8月まで）

平成24年 4月 東京大学総長補佐（平成25年3月まで）

平成27年 4月 東京大学生産技術研究所長（平成30年3月まで）

平成30年 4月 東京大学大学執行役・副学長、（平成31年3月まで）

平成30年 4月 東京大学社会連携本部長（現在に至る）

平成31年 4月 東京大学理事・副学長、EMP室長（現在に至る）

## 6. 主な教育・研究・社会活動

- 海中ロボットならびにロボットの知能化の研究から転じてマイクロ流体デバイス分野の開拓とその医療バイオ分野ならびに海洋計測分野への応用研究を展開
- 大学院工学系研究科では、精密工学専攻、バイオエンジニアリング専攻を担当
- 精密工学科の学部講義「制御工学Ⅱ」を担当（一昨年まで10年間）
- 大学院では「応用マイクロ流体システム」「バイオデバイス概論／Overview of Biodevices」などの講義を担当
- マイクロ流体デバイス関連研究分野の立ち上げに参画（25年程度）
- 海中ロボットを含む新たな海洋観測システム関連研究分野の研究推進（30年以上）
- 日仏国際共同研究ラボ LIMMS に参加（20年間）、ディレクター就任（7年間）

## 7. 主な著作（研究論文を含む。）（題目、出典、発行年を記載）

- [1] Fujii, T., and Ura, T., " Self-Generation of Neural Net Controller by Training in Natural Environment", Computational Intelligent: Imitating Life, ed. Zurada, J. et al., IEEE Press (1994) pp.340-351
- [2] Leclerc, E., Sakai, Y., and Fujii, T., " Cell Culture in 3-Dimensional Microfluidic Structure of PDMS (polydimethylsiloxane)", Biomedical Microdevices, Vol.5, No. 2 (2003) pp.109-114
- [3] Kimura, H. et al., " An integrated microfluidic system for long-term perfusion culture and on-line monitoring of intestinal tissue models", Lab on a Chip, Vol.8 (2008) pp.741-746,
- [4] Kim, S.-H., and Fujii, T., " Efficient Analysis of a Small Number of Cancer Cells at the Single-cell Level using Electroactive Double-well Array", Lab on a Chip, Vol.16 (2016) pp.2440-2449

## 8. 学会、審議会等における主な活動

平成20年～24年：Sensors and Actuators B: Chemical, MicroTAS Section Editor  
平成24年：The 16<sup>th</sup> International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS2012)をChairmanとして開催  
平成28年～30年：化学とマイクロ・ナノシステム学会会長  
平成29年～31年：Chemical and Biological Microsystems Society President  
平成30年～：産業構造審議会産業技術環境分科会  
研究開発・イノベーション小委員会、委員長代理  
平成31年～：科学技術・学術審議会委員  
海洋開発分科会長、研究開発基盤部会副部長  
令和2年～：産業競争力会議「社会で育てるSTEAM教育のプラットフォーム構築」プロジェクトリーダー

## 9. その他特記事項（受賞歴等）

平成13年：ディスプレイデザイン大賞入選（21世紀夢の技術展）  
平成18年：IEEE Senior Member  
平成20年：Analytical Sciences Hot Article Award  
平成27年：Royal Society of Chemistry Fellow